

## 緊急時における聞こえない・聞こえにくい方への支援に係る意見交換会について

令和3年1月時点

## 目的

聞こえない・聞こえにくい方が火災・急病等の緊急時にも対応して地域で安心して暮らせるよう、地域住民、防災、救急、福祉等の関係者が、緊急時等に手話をはじめとするコミュニケーション面での的確な支援を聴覚障がい当事者が得られるための方法（環境）や、聴覚障がい当事者との手話を含めたコミュニケーションについての理解を深めることを目的とする。

このことから、町内会、民生委員児童委員、福祉サービス事業所、行政（防災・救急）、障がい者関係部署に対し、手話言語の普及啓発及び理解を深めることを目的に一堂に会し、それぞれの立場からの認識を共有するための意見交換会を実施する。

## 実施方法

- 1 開催日時：3月21日（日） 午後2時から午後4時まで
- 2 会 場：旭川市障害者福祉センター おびった 会議室1
- 3 範囲(案)：ろう者、手話通訳者、町内会、民生委員児童委員、福祉サービス事業所、行政（防災・救急）、障がい者関係部署（定員50名）
- 4 実施内容（案）

## (1) 講演

## ア 「緊急時における経験及び手話言語の必要性について」

講演者：ろう者（一般社団法人旭川ろうあ協会 事務局長 橋本 氏）

時 間：10～15分程度

内 容：ろう者から緊急時の体験とそれにつながり手話の必要性を伝える

- ・ 緊急時がどのような場面・状況であったか
- ・ 緊急時において手話が通じなくて困ったこと
- ・ 緊急時においての手話の必要性及びどのような支援が必要か

## イ 「聞こえない・聞こえにくい方の119番通報」

講演者：行政（防災・救急）職員（旭川市消防本部指令課長 金子 氏）

時 間：10～15分程度

内 容：緊急時への備えや通報手段、緊急時の支援を円滑に進めるために必要なことなどを説明してもらう。

- ・ 緊急時に備えた心がけ
- ・ 緊急時における通報手段
- ・ 緊急時の支援を円滑にするためには

ウ 「地域支援における取組について」

講演者：民生委員児童委員（旭川市民生委員児童委員連絡協議会 副会長 桑島氏）

時 間：10～15分程度

内 容：講演者から緊急時における支援方法（関係各所との協力も含め）  
などについて話してもらう。

- ・ 講演者の活動内容の説明
- ・ 実際の活動で困った経験
- ・ 円滑に支援するためにどのようなことが必要か

※ 各講演の講師，テーマについては決定。講演内容については，講師と調整中。

(2) パネリストによる緊急時の支援に関する意見交換

(50分程度)

【コーディネーター】

旭川市手話施策推進会議 会長 栗田氏（旭川大学准教授）

【パネリスト】 ※ 講師と同一

ろう者 : 橋本 由美 氏  
(一般社団法人旭川ろうあ協会 事務局長)

行政(防災・救急) : 金子 洋司 氏  
(旭川市消防本部指令課長)

民生委員児童委員 : 桑島 保夫 氏  
(旭川市民生委員児童委員連絡協議会 副会長)

5 予約の有無

当日参加を認めず，予約制をとる。

6 感染防止対策

出入口に手指消毒用アルコールの設置，参加者の体温・体調の確認，ソーシャルディスタンスの確保のため定員以上の参加はお断りする

7 YouTube へのアップロードについて

動画のアップロードについては，講演形式や参加者への配慮等の関係から現在検討中。